



**羅針盤
Plus
seven**

**THT
Japan
Yamaguchi**

案



Cyclist Licence & Tourism Maintenance CP7

「サイクル県やまぐち」の推進

本県の「誰でも楽しむことができるサイクリススポーツ」に適した環境を活かし、サイクリススポーツに係る県民の気運醸成や環境整備に向けた取組を推進します。

心も体もリフレッシュ!

積極的な活動・支援を継続

シンボルイベントの開催

- モデルサイクリング・モデルボタリングの実施
- ロードバイク国内最高峰ツアーの開催
- マウンテンバイクダウンヒル国際規格ツアーの開催

サイクリススポーツ環境の整備

- 修理工具・ポンプ等のサイクルエイドなどの設置
- ボタリングツアー等企画・運営支援

効果的な情報発信

- 県内サイクリイベントの一体的な県内外へのPR
- 近県や県外関係団体等との連携を検討

「サイクル県やまぐち」のイメージの定着

来県者増加

地域の活性化

交流人口の拡大

県外や海外のサイクリストと県民との交流促進を図る

サイクリングフィールド山口

シーサイド、リバーサイド、マウンテンフィールド、山口の“道”を走り尽くそう!

瀬戸内海、日本海、そして響灘と三方を海に囲まれた山口県。錦川、佐波川、権野川、木屋川、阿武川、長くなれば短くもない。シーサイドコースもリバーサイドコースも充実している上に、歴史と自然と市町の点在具合が自転車旅にマッチしている。

さらに、山陽道、山陰道、萩往還、北浦街道、山代街道と古の道も縦横にあり、山道の可能性も残している!

「街道」・・・ナショナルブルベ山口
「山道」・・・やましろMTBツアーズ
「町の道」・・・自転車さんぽ山口セレクション

正に自転車のための道路整備先進県の可能性を秘めています。

主体: ショップ+ユーザー+エリア+関連団体 / いわ研・転遊研

『THTジャパン山口』は、「サイクル県やまぐち」のシャドウプロジェクトとして、ネクストプロジェクト構築に寄与するものです。そのためにも、山口県の特徴を活かした、地域貢献型マルチサイクリングクラブを意識した実験企画が必要と考えます。

特徴その1) 街と里のバランスが良い。さらにプロショップの位置関係も微妙に良い。

特徴その2) 自然と歴史に恵まれている。それもサイクリングに程よい距離に点在している。

特徴その3) 道路整備が行き届いている。しかし、自動車優先思想は他県と変わらず、走行環境整備も同じく課題。

特徴その4) サイクル県やまぐちに寄せる期待。とは言え後発企画であり、セキュリティや市民権については県単独では無理。

地域貢献型マルチサイクリングクラブ

サイクリングの自由法

ショップのメリット・デメリットを超えた連携を前提に、「街道」「山道」「町の道」でフィールドを開拓し、独自の基準で隣接県も含めたファンを獲得し、一定のマーケットを醸成する。但しそれには、官製イベントを仕掛けつつ参加者の中から、「時には参加者、時には主催者」のキーワードを理解した準S級スタッフを発掘する必要もあります!

100kmブルベ・スペシャルデイ

ナショナルブルベの推奨コースを利用して、荷物の搬送や、観光案内等を付加する、セルフ+サポートの、イベントでもない、ガイドでもない、新スタイルのサイクリング。

MTBパーク&Think MTB

MTBの山道走行は、いつも訳アリ! 21世紀前夜のMTBブームは無知のため収束。クローズド&オープン of the 考えのもと、県東部と県西部で実験企画を実施。

自転車さんぽ山口セレクション

ベース企画として各市町でローテーション開催。主催:教育委員会、調査:サイクリング協会、運営:競技連盟、募集:ショップ、景品:観光協会&商工会、後援:県警。

防長かるたドライブ/チョイスZ

自転車の立場を訴えるには、地元住民や他の交通へのリスペクトが肝要。それも含め、移動の自由を考えるザッピング企画として、ドライブ版や、混合版を実践。

食と匠の七次産業化

交流人口の拡大とは、下世話な話し、経済効果を狙ったもので、そのエリアでの食事や物産購入は切り離せない。生産+加工+販売+PR=七次産業化!